公開保育による施設関係者評価

日　時	令和 8年 8 月 25 日（火）　午前10時～11時00分
会　場	かなりや組保育室　遊戯室（うぐいす組）　ひばり組保育室
対象児	年少児　かなりや組、　年中児　うぐいす組、年長児　ひばり組
指導者	かなりや組担任　八木橋亜紀保育教諭 うぐいす組担任　鎌田いずみ保育教諭 ひばり組担任　　米塚月乃保育教諭
講　師	青森中央短期大学　幼児保育科准教授　兼平友子先生
経　緯	4月25日：文書による青森中央短期大学学長宛に講師派遣依頼
	4月25日：文書による青森中央短期大学兼平友子准教授へ講師助言依頼
	4月25日：文書による第三者委員へ助言依頼
	8月17日：講師へ公開保育指導案（ＰＤＦ）送信、第三者委員へ指導案・評価表送付。
	8月25日10：00～10：30/公開保育実施 10：40～11：00/兼平准教授指導　第三者委員　園長　担任　主幹保育教諭によるカンファレンス
	：公開保育について、学識者、第三者委員の評価を踏まえた園内研修
内　容	公開保育を行ない、予め当園で用意した評価票を使って評価を行う。評価票には保育の内容に関する４項目、園児の様子に関する４項目、保育者の姿勢等に関する６項目の計１０項目を３段階で評価し、その他、感想やもっと良い教育保育になるための視点を記入する。
	学識者青森中央短期大学准教授　兼平友子先生、当園の施設関係第三者委員木津谷とき子氏、菊池義孝氏、施設長、職員（保育教諭　八木橋・鎌田・米塚）、主幹保育教諭で評価を行う。
	集計した結果の平均値（％）を標記し、園内研修で教育保育の課題について検討する。
結　果	以下記載

公開保育の様子〈3歳児　かなりや組〉

領域	No.	評価内容	◎（%）	○（%）	△（%）
保育内容	1	テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	87.5	12.5	
	2	ねらいに沿った教育保育が行えていましたか	87.5	12.5	
	3	幼保連携型教育保育要領の内容に沿った教育保育が行えていましたか	87.5	12.5	
	4	予想される子どもの姿や環境指導ポイントは適切でしたか	75	25	

園児の様子	1	幼児は主体性を持って取り組んでいましたか	75	25	
	2	園児同士声を掛け合ったり、伝え合っていましたか	62.5	37.5	
	3	園児は楽しんで取り組んでいましたか	87.5	12.5	
	4	園児は理解して取り組んでいましたか	75	25	
保育者の姿勢	1	時間配分は適切でしたか	75	25	
	2	教具・教材を適切に利用できていましたか	75	25	
	3	保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか。	87.5	12.5	
	4	保育者の声や大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか。	87.5	12.5	
	5	保育者同士の連携はうまくいっていますか。	87.5	12.5	
	6	保育室等は整理整頓、清潔にしてありましたか。	87.5	12.5	

担任評価反省	かなりや組の子ども達が興味を持っている「さかな」を遊びに取り入れようと設定した。これまで魚のぬりえ等で遊びながら準備をすすめていたことで、より期待を高めることが出来たと思う。釣り竿の製作過程やゲームの進め方は個々に合わせて援助が出来ればよいと思ったが、みんな集中して取り組むことができ、個別配慮が必要な子も多かったが、それぞれに「できた」の達成感を味わうことが出来たようで嬉しかった。
なるための視点、評価等よりよい教育保育に	○年齢に適合したテーマの設定していると感じた。。魚好きな子どもが多く、釣り竿の準備や釣り方が最初は分からなくても、分かり次第早く出来、各チームに分かれて競い合うようになり、楽しい活動が出来ていた。 ○魚釣りゲーム保育の配置が工夫されており、子ども達の動線がスムーズでトラブルが少なかった点が素晴らしいです。個々の使用する素材もバランス良く子どもの探求心を刺激していました。 ○4色のグループに分かれて理解して出来ていたところに感動し成長を感じました。本当にお疲れ様でした。 ○自分達で製作したものを使っての魚釣り遊びに、とても意欲を持つ姿がみられていた。 ○簡単なルールのあるゲーム遊びを通じてルールや順番を守ったり、友達の様子にも興味を持てている様子であった。 ○シートにつまずく子がいたので固定すると良いと思った。 ○釣る魚も子ども達と自前に製作していたことで意欲に繋がっていた。 ○ゲームのルールを説明の中で、みんなが楽しめるようなルールをしっかり伝えていた。ずるをしないという言葉も年少組の心に届く伝え方で2，きちんと守ることが出来ていた。 ○子ども達が興味を持っている魚を題材にしていて良かった。 ○ひとりひとりの行事に目が届き、特に製作や魚釣りしている時にスムーズに取り組め楽しんでいたと思う。
第三者委員	○日常保育の中で子ども達の好きな魚を題材に取り上げたということから、より一層楽しめる魚釣りゲームに発展させた流れは見事でした。紐を通す集中力、チームに分かれる、他ルールを理解し、魚釣りゲームを通して子ども達が見せた満面の笑顔は印象的でした。今後とも、子ども達の力量を発揮して下さることを願います。本当にお疲れ様でした。 ○ストローに紐を通す、結ぶなど指先を使うことで遊びを通じて難しいことを一つ一つクリアしていく力を育んでほしいと思います。
講師総評	子ども達にとって満足できた活動になったと思います。本日に至るまでに魚の絵本を読んだり等海の世界観を作っていたことが、より活動の意欲につながったと思います。それが先生がブルーシートを敷いたときの子どもたちからの「ワ～！海だ～！」という歓声に表れていたと思います。この活動を通して磁石の仕組みについても子どもたちなりに感じることができたと思います。

公開保育の様子〈4歳児　うぐいす組〉

領域	No.	評価内容	◎（%）	○（%）	△（%）
保育内容	1	テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	100		
	2	ねらいに沿った教育保育が行えていましたか	87.5	12.5	
	3	幼保連携型教育保育要領の内容に沿った教育保育が行えていましたか	87.5	12.5	
	4	予想される子どもの姿や環境指導ポイントは適切でしたか	75	25	
園児の様子	1	幼児は主体性を持って取り組んでいましたか	87.5	12.5	
	2	園児同士声を掛け合ったり、伝え合っていましたか	75	25	
	3	園児は楽しんで取り組んでいましたか	87.5	12.5	
	4	園児は理解して取り組んでいましたか	75	25	
保育者の姿勢	1	時間配分は適切でしたか	75	25	
	2	教具・教材を適切に利用できていましたか	87.5	12.5	
	3	保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか。	87.5	12.5	
	4	保育者の声や大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか。	87.5	12.5	
	5	保育者同士の連携はうまくいっていますか。	87.5	12.5	
	6	保育室等は整理整頓、清潔にしてありましたか。	87.5	12.5	

担任評価反省	いつもと違う雰囲気に気持ちの変化もあるかと思ったので、少しでも安心できるように、どんなことをするのか説明をしてすすめた。『仲間あつめゲーム』『爆弾ゲーム』は以前行ったことがあったが、もう一度ルールや約束事を確認することで、大きな戸惑いもなく楽しめたように思う。いろんな友達と関わったり、質問に答えたりなどの経験が出来たので自信に繋がっていけばいいなと思う。楽しいいつもの雰囲気も見せることが出来たのでよかった。
なるための視点、評価等よりよい教育保育に	○少人数から多人数への歌いながら、ぬいぐるみを回して歌が終ったときに持っている人が立って答えるということで遊びを通して仲間意識を高めていると思う。 ○担任が先回りして指示を出すのではなく、子どもの気づきや葛藤をじっくりと見守る姿勢が見られていた。これは当園が目指す「子どもの主体性を育む保育」を体現しています。歌をうたったりルールを楽しく知りゲームを進めることが出来ていてよかった。 ○ルールの説明の際、イラストを交えて描かれていたものを貼り出して説明していて分かりやすかった。 ○言葉での指示を聞き、理解することができ、ゲームを楽しむことが出来ていた。 ○ゲーム遊びを通じて、自己紹介や質問等の発表の機会となったり、友達の話に興味を持って聞くことが出来ていた。友達との関わりを楽しみながら、集団遊びを楽しめていた。

第三者委員	○自己主張が強くなってくる年齢の子ども達、とても元気な子ども達でした。保育者の事前準備、子ども達に対する話し方、問いかけ、動と静という二つのゲームを楽しませながら本時のねらいは十分達成出来ていたと思います。子ども達の成長を願いながら先生のご活躍に期待しています。本当にお疲れ様でした。 ○ゲームを通じて相手の質問に応えることで、コミュニケーション能力の向上や自信に繋がっていくと思います。
講師総評	先生の明るい声のトーンがゲームを盛り上げとても良かったと思います。顔写真の教材を用いたことで友達を再確認し仲間集めゲームにスムーズにつながりました。今回の活動を通して、みんなで何かを行う楽しさを感じることが出来たと思います。仲間集めゲームは、この先小学校1年生でも算数・体育等につながる活動ですので時々行っていけると良いのではないかと思います。

公開保育の様子〈5歳児　ひばり組〉

領域	No.	評価内容	◎（%）	○（%）	△（%）
保育内容	1	テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	87.5	12.5	
	2	ねらいに沿った教育保育が行えていましたか	87.5	12.5	
	3	幼保連携型教育保育要領の内容に沿った教育保育が行えていましたか	87.5	12.5	
	4	予想される子どもの姿や環境指導ポイントは適切でしたか	75	25	
園児の様子	1	幼児は主体性を持って取り組んでいましたか	75	25	
	2	園児同士声を掛け合ったり、伝え合っていましたか	87.5	12.5	
	3	園児は楽しんで取り組んでいましたか	87.5	12.5	
	4	園児は理解して取り組んでいましたか	62.5	37.5	
保育者の姿勢	1	時間配分は適切でしたか	62.5	37.5	
	2	教具・教材を適切に利用できていましたか	87.5	12.5	
	3	保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか。	87.5	12.5	
	4	保育者の声や大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか。	87.5	12.5	
	5	保育者同士の連携はうまくいっていますか。	62.5	37.5	
	6	保育室等は整理整頓、清潔にしてありましたか。	87.5	12.5	

担任評価反省	ジェスチャーゲームという遊びをやったことがなく、どんなゲームかを知らない子ども達だったが、初めにみんなでイラストを見てそのものになりきり、まずは身体で表現することを楽しみ、今回の活動への理解に繋げられた。普段、注目を浴びるのが苦手で前に立つことへ苦手意識を持っている子が数名いるが、活動中は少し恥ずかしながらもジェスチャーを通して伝えることを楽しい雰囲気の中で出来ていたように感じる。チーム対抗ということで、何個のお題をクリアしたか競い合いチームで協力する姿が見られていた。負けたチームは悔しさは少し感じていたようで勝敗についてを味わえたようである。言葉だけでなく、身体の動きだけでも相手に伝えることが出来る、そしてこのようなコミュニケーションの取り方もあるということを知るきっかけにもなったと思います。
なるための視点、評価等よりよい教育保育に	○複数担任の連携が非常にみえ、視野の広い保育が実践されていた。主担任が全体をリードする裏で、副担任が個別のフォローやカード持ちを先回りして伝えたり良かったと思う。 ○子ども達も終始、安心感を持って楽しくゲームが出来たと思う。新人2年目ということもあり、良い経験にもなったかと思います。反省を次の保育に生かしてもらいたいと思う。 ○保育者の語りかけの声の大きさ、スピード、表情、声のトーンが人数や部屋の広さに合っていたし、とても聞きやすく良かった。 ○導入部分のまねっこ遊びの際、動物の絵カードを使用してわかりやすかったが、まねっこへの導く声掛けをより具体的に「犬の鳴き声はなんだっけ？」「どんな歩き方をする？」等の聞き方をすれば、子ども達もスムーズにまねっこできるのではないかと感じた。 ○遊びを通じ、楽しい雰囲気の中で人前に立つ経験が出来ている様子が見られていた。ジェスチャーゲームのルールを理解しコミュニケーションを楽しむ姿が見られていた。 ○日常生活で見たり経験していることをイラストガードにしジェスチャーで真似していることもあり、みんな理解でき取り組めていたと思う。 ○「もっとやりたい」「たのしかった」という声が聞かれていて良かったと思う。
第三者委員	○みんなの前で話す事・体で表現する事、どちらもとても緊張します。その緊張する題材に部外者がいる中で経験させた事は良い機会であり、自信にも繋がっていくことでしょう。年長児らしい姿を見せた子、まだ不安気な姿を見せた子もいましたが楽しく取り組んでいましたよ。保育者の事前準備、指導に持っていくための細かい留意点が凄く良かったです。本当にお疲れ様でした。 自分のジェスチャーが相手に伝わった時の達成感が大きな自信に繋がると思います。 ○
講師総評	子どもたちは初めてながらジェスチャーで伝えるという少し難しいものに挑戦できました。ねらいにあるように、言葉以外の方法で伝えるということ、そして伝わったという経験がこれからの友達とのコミュニケーションを取っていくうえで大事になってくると思います。恥ずかしがりの子が多いクラスということでしたが、今回のようにゲームを通してみんなの前に出て発表するということがとても良い経験になったと思います。

カンファレンス	公開保育終了後のカンファレンス
園内研修	以上児担任、先生方、公開保育お疲れ様でした。園内研修として外部講師を招いて公開保育を行いましたが、自分の教育保育を見直す良い機会となり、活動の取り組み方、流れが出来上がってきたように思います。他クラスの取り組み、教育保育の工夫などを見て刺激を受け、これからの教育保育に生かし取り組んでいければと思います。